

【新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金交付事業】

## 和歌山県新型コロナウイルス感染症

### 医療提供体制設備整備事業補助金

#### (新型コロナウイルス感染症

#### 患者等入院医療機関等設備整備事業)

## 令和5年度第4回募集要領（個人防護具分）

### 〔受付期間〕

令和6年2月13日（火）～令和6年3月14日（木）

### 〔提出先・提出方法〕

①郵送：〒640-8585（住所の記載は不要です。）

②データ：e0412003@pref.wakayama.lg.jp

いずれも「健康推進課 感染症対策班」あて提出

\* 交付要綱、実施要領をよくご確認のうえ、申請してください。

\* 今回より、補助対象の範囲の見直しを行っていますので、この募集要領をよくご確認のうえ、申請してください。

\* 郵送の際は、簡易書留など郵便物の追跡ができる方法で郵送してください。

\* データは、要綱で様式を定めている資料のみ提出してください。その際、様式類はPDF化せず元のファイル形式のまま送信してください。

### 〔お問い合わせ先〕

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課 感染症対策班（平日 9:00～17:45）

TEL：073-441-2643

FAX：073-428-2325

MAIL：e0412003@pref.wakayama.lg.jp

令和6年2月

和歌山県

## 目 次

<b>I</b>	<b>目的</b>	1
<b>II</b>	<b>補助対象事業</b>	1
<b>III</b>	<b>補助事業の内容</b>	1
1	補助の対象者	1
2	補助対象経費	1
3	補助事業期間	1
4	補助金の額	2
5	留意事項	2
<b>IV</b>	<b>交付申請手続き</b>	3
<b>V</b>	<b>その他</b>	5

## I 目的

新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関において、入院患者に対する医療を提供する中で病床及び医療資器材の不足が生じ、迅速かつ適切な医療の提供ができなくなるようなするため、必要な病床及び医療資器材等についてあらかじめ整備し、医療体制の強化を図るために要する費用を補助します。

## II 補助対象事業

和歌山県新型コロナウイルス感染症医療提供体制設備整備事業

- ・新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関等設備整備事業  
(旧新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業)

## III 補助事業の内容

### 1 補助の対象者

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた実績があり、G-MIS 上に実績及び受入可能病床数等の入力を行う新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関等

\* 感染症指定医療機関であっても、上記に該当する場合は申請可能です。

### 2 補助対象経費

- ・個人防護具（マスク、ゴーグル、ガウン、グローブ、キャップ、フェイスシールド）

\* 当事業の対象については、**新型コロナウイルス感染症患者を入院受入れするために要するもの**に限ります。

### 3 補助事業期間

**令和5年10月1日（日）～令和6年2月29日（木）**

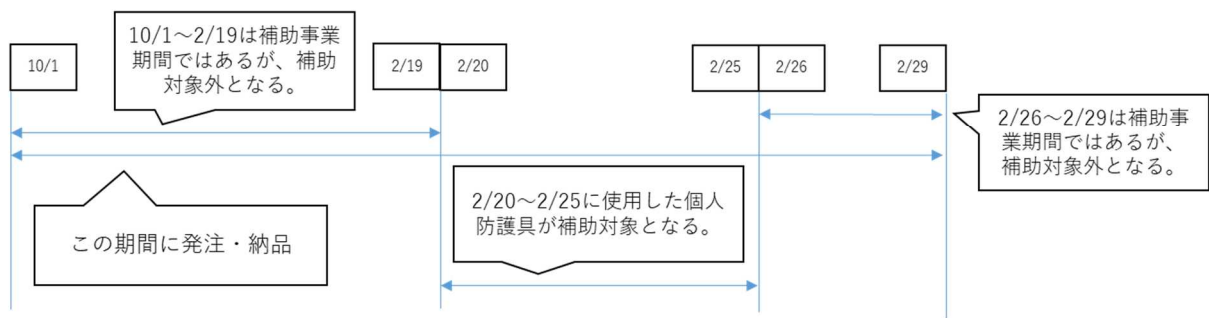
**\*ただし、令和5年10月1日（日）～令和6年2月29日（木）の間に、発注、納品及び「※対象期間」に使用した個人防護具のみ補助対象となります。**

※「新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」（令和5年9月15日厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部等連名事務連絡）で規定する、コロナ患者の入院者数が、オミクロン株による感染拡大時のピークの入院者数の1/3を超えた時点（「段階1」といいます。）から1/3を下回るまでの期間です。

「対象期間」は県HPに掲載していますので、随時ご確認をお願いします。

〈アドレス〉 <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/041200/d00215916.html>

例：2/20～2/25が対象期間(段階1)となった場合



#### 4 補助金の額

補助対象経費を合計した金額の 10/10 ※ただし、千円未満は切り捨てとする。

- ・ 個人防護具（マスク、ゴーグル、ガウン、グローブ、キャップ、フェイスシールド）  
1人あたり※ 3,600円

※入院患者に直接対応する医療従事者(医師・看護師等)1人が、1日に対応した患者の数

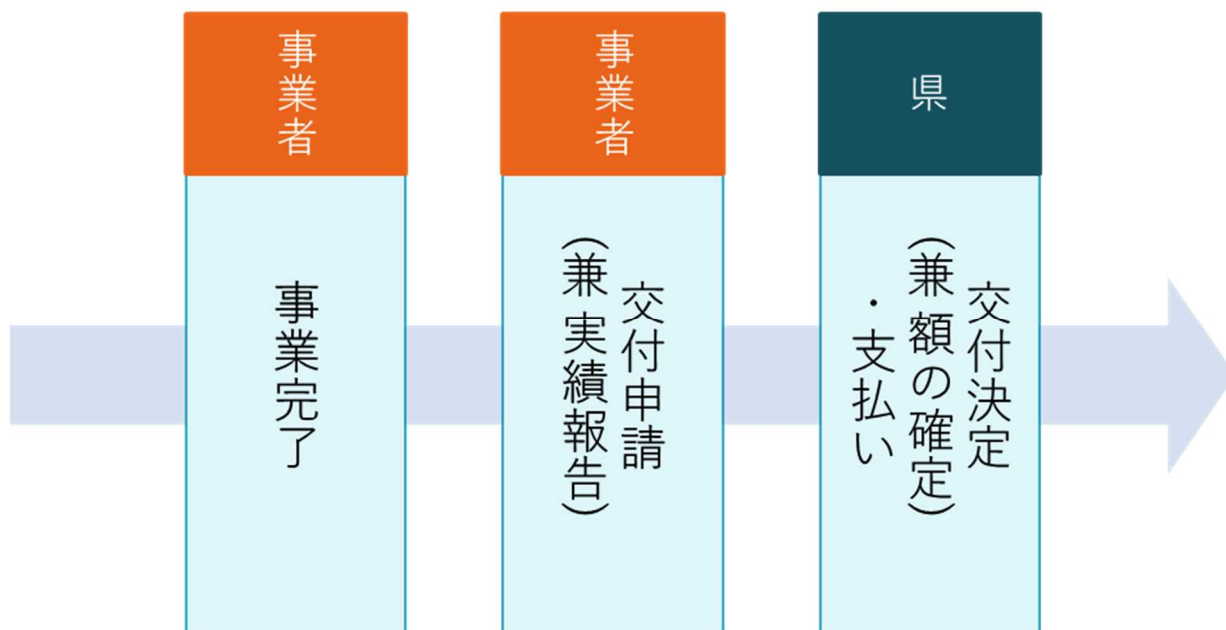
(例：医療従事者3人で1日あたり5人の入院患者をした場合、3人×5人×3,600円)

#### 5 留意事項

- 少なくとも令和6年3月31日までの間は、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れ、G-MIS上に実績及び受入可能病床数の入力を積極的かつ継続的に行ってください。実績等が確認できなかった場合は、当該補助金の交付対象外になります。
- 本事業は予算の範囲内での執行となるため、必ずしも満額を交付するものではありません。
- 当事業を実施するにあたり、県が定める使用簿（県ホームページに掲載）を使用し、個人防護具の管理を行ってください。
- 個人防護具の整備にあたっては、別添「個人防護具に関する規格参考例」を参考にしてください。
- 上記規格参考例に載っていない個人防護具（シューズカバー等）については、補助対象外となります。
- 他の補助金の対象経費として補助を受けていないものが本事業の対象です。

## IV 交付申請手続き

原則、下記フロー図のとおり手続きをしていただきます。



補助金交付までの手続きとして

・交付申請書（兼実績報告書）の提出のみを行っていただきます。

※今回は事前協議書の提出は必要ありませんが、予算の範囲内での交付となるため、必ずしも申請額通りの交付とならない可能性があります。

### 交付申請書（兼実績報告書）の提出

#### ① 交付申請書（兼実績報告書）提出期限

令和6年3月14日（木）までに交付申請（兼実績報告）を行ってください。提出書類は次のとおりです。

※提出期限に関係なく、書類の準備が完了次第提出をお願いいたします。

※上記提出期限までに、支払処理を完了していただくとともに、下記書類を作成・準備してください。

- ① 交付申請書（様式第2号）
- ② 誓約書（県ホームページに掲載している様式をお使いください。）
- ③ 経費所要額精算書（別紙（2））
- ④ 基準額算出内訳及び対象経費実支出額内訳（別添（2））
- ⑤ 歳入歳出決算（見込）書の抄本
- ⑥ 使用簿（県ホームページに掲載している様式をお使いください。）
- ⑦ 支出証拠書類（領収書等、支払ったことがわかるもの）
- ⑧ 検収調書の写し（納品書等、納品日のわかるもの）
- ⑨ 法人の場合、役員名簿

⑩ 情報シート（別紙）

⑪ その他知事が必要と認める書類

\* 上記の他、追加で書類の提出を求める場合があります。

\* 支出証拠書類とは、日付・支出先・支払日・申請者名・支払い内容・金額が全て明記されたもの（領収書や振込明細書等。写し可）です。提出する際は、書類ごとに整理番号を付すとともに、補助対象経費に対応する箇所について、突合確認したうえで提出してください。

\* 支出根拠や納品日、その他事業完了が確認できない経費は、補助金の対象外となります。

※やむを得ず概算払により事業を行う場合は、事前に県にご相談ください。

② **申請方法**

メール及び郵送による提出

（※メールでの提出が困難な場合のみ、郵送のみで可）

③ **提出先**

データ：e0412003@pref.wakayama.lg.jp

郵 送：〒640-8585 （住所の記載は不要です。）

\* いずれも「健康推進課 感染症対策班」あて提出してください。

④ **交付決定及び補助金支払い**

申請書類を審査の上、県から事業者あてに交付決定通知及び補助金の支払いを行います。

\* 請求書の提出は必要ありません。

\* 提出書類の内容について、電話等で問い合わせる場合があります。

\* やむを得ず概算払した場合で、その後の実績報告による額の確定後に支払済額との差が生じた際は、次のいずれかの方法で精算を行います。

・「支払済額 > 必要額」となった場合

→必要額を確定額とし、差額を県あて返納していただきます。

・「支払済額 < 必要額」となった場合

→支払済額を確定額とし、不足額は申請者の自己負担となります。

⑤ **事業内容の変更、中止について**

事情により、事業内容の変更、中止がある場合は、個別に県にご相談ください。

## V その他

- 本事業の収支に関する帳簿、領収書等の関係書類は、整理の上、事業終了後 5 年間（令和 11 年 3 月 31 日まで）保管してください。
- 本事業により取得した機械及び器具その他の財産について、知事の承認を受けないで交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は廃止してはなりません。

### お問い合わせ先

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課 感染症対策班（平日 9:00～17:45）

T E L : 073-441-2643

F A X : 073-428-2325

MAIL : [e0412003@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0412003@pref.wakayama.lg.jp)

(別添)

### 個人防護具に関する規格参考例

マスク 感染リスクの高い医療従事者が着用することを考慮し、NIOSH（米国労働安全衛生研究所）規格N95、または不織布素材で製造されているサージカルマスクであること。

顔面とマスクのフィットを高いレベルで確保できるよう、伸縮性のある締めひで首周りとは後頭部を押さえる構造である。

鼻部から漏れこみを抑えられるノーズクリップが装着されている。

ゴーグル 防曇処理加工が施され、レンズ部は耐衝撃性の高いポリカーボネイト製である。次亜塩素酸液への浸漬やアルコール清拭による消毒で再利用が可能である。眼鏡をかけた者でも装着が可能である。密封式タイプである。

ガウン 耐水性のある不織布素材である。  
長袖で体の前面をおおえる後ろ開き形状であり、通気性、透湿性があるもの。  
業務遂行に支障のないよう、首部及び腰部背面で留めるしめひもを有する。

グローブ 水の浸透性がなく、たんぱくアレルギーを起こしにくい素材である。  
手首にガウンとグローブの隙間ができないように十分な長さを有している。

キャップ 毛髪を覆い、こぼれ出るのを防ぐゴム付きのもの。  
マスクやゴーグルの着脱時に巻き込まれて外れないもの。  
不織布素材であること。

フェイスシールド

防曇処理加工が施され、眼鏡をかけた者でも装着が可能である。